

## 誰でもできる「いのち育む有機稲作」

戦後長い間、日本の農民は農薬がなければ省力な稲作はできないと思い込まされてきました。そもそも除草剤の開発は農家の主婦（お袋）の厳しい草取り労働を解放させたいという農家出身の研究者の熱い思いでした。

それが環境負荷という重い荷物を背負いながら今日的な「除草剤を使わないイネづくり」の探求が始まって20年、遂に慣行栽培を超える抑草技術がはっきりと姿を現し始めました。

2回代かきをベースにした埋土種子の削減とコメヌカ屑大豆抑草法が渡部さんによって実践され、一定の成果が出ています。その現場をみながら、化学肥料や農薬に頼らず自然の循環機能を活かした有機稲作の今日的課題と技術開発・普及のあり方を考えたいと思います。農家のみなさまはもとより、政治や行政、報道に関わる方々、そして消費者のみなさまも、是非お誘いあわせてご参加下さい。

### 記

- 1 日時 6月28日(土)午前11:30~29日 午後 3:00
- 2 場所 福島県喜多方市山都及び熱塩加納町
- 3 参加費 全日程参加 15,000円
- 4 宿泊地 熱塩温泉 山形屋(0241-36-2288)
- 5 研修会場 熱塩加納会館 3F大ホール(送迎あり)
- 5 日程 別紙
- 6 問い合わせ及び申し込み先 NPO法人民間稲作研究所 /fax0285-53-1133/1512  
メールアドレス [inaba@inasaku.or.tv](mailto:inaba@inasaku.or.tv)  
小林芳正 電話/ファックス 0241-36-3046  
喜多方市熱塩加納町米岡字日照田丁616

### 申込書

ご氏名 \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

	28日	29日	宿泊費(1泊2食)
部分参加費 (参加日程に○印を)	2,000円	2,000円	1,200円
全日程参加	15,000円		

ファックス又はメールでお申込み下さい。締め切り6月15日厳守

いずれかに○を付けて下さい。

- 1 車で参加します。
- 2 電車で参加します。

---

---

日程及び内容

---

---

6月28日(土)

- 11:30 JR 東日本 磐越西線 山都駅集合(自家用車の方は1:00 渡部農場)  
12:00 昼食(山都駅より徒歩5分 そば伝承館)  
1:00 渡部農場視察(経営概要と抑草技術)  
3:00 熱塩加納地区 有機稲作圃場視察  
4:00 報告と討論 研修会場 熱塩加納会館3F大ホール  
報告1 山都町における抑草技術の成果と課題 渡部よしの  
報告2 ミネラルを重視した有機稲作の考え方と実際 小林芳正  
報告3 営農のための生き物調査と抑草・肥培管理  
NPO法人 民間稲作研究所 稲葉光國  
7:30 懇親会・試写会(これからの昔のイネづくり)

6月29日(日)

- 9:00 報告4 山形における抑草技術 - 到達点と課題 -  
置賜産直センター 平田啓一  
報告5 岩手県大東町における2008年実践の成果  
大東町有機農業研究会 小島幸喜  
報告6 宮城県大崎市における有機稲作の現状と課題  
JAみどりの 佐々木陽悦  
10:30 有機稲作の技術問題に関する総合討論  
コーディネータ 伊藤豊彰(東北大学農学部)・長谷川浩(東北農業研究センター)  
パネラー 小林芳正 (熱塩加納 百姓)  
平田啓一 (置賜産直センター)  
小島幸喜 (大東町有機農業研究会)  
渡部よしの (喜多方市山都 有機稲作農家)  
佐々木陽悦 (宮城県大崎市 JAみどりの)  
稲葉光國 (NPO法人 民間稲作研究所)

昼食(加納町のみなさんによる手作りランチ)

- 12:30 各県における有機農業推進協議会の実践報告と討論  
- モデルタウンづくり、認証表示問題、国の支援策をめぐって  
司会・進行 谷口吉光(秋田県立大学)・稲葉光國(NPO法人民間稲作研究所)  
宮城(大崎市)・福島(喜多方市)・秋田(大潟村)・山形(川西置賜)・岩手(大東町)など各県からの報告と討論  
15:00 閉会

## 会場案内図



車の方は直接渡部農場に集合してください。

**集合場所 磐越西線 山都駅**

東北・関東から 郡山9:48 - 会津若松 11:01 - 山都 11:27  
新潟方面から 新潟 9:12 - 山都 11:23

**解散場所 磐越西線 喜多方駅**